

被災した家屋の屋根を補修する職人＝熊本  
県大津町で(グラウンドワーク三島提供)



# 被災地に建築職人派遣

## 三島の渡辺さんら協会設立

### 日本全国どこからでも

三島市のNPO法人「グラウンドワーク(GW)三島」専務理事の渡辺豊博さん(66)らが、災害復旧職人派遣協会(山梨県大月市)を設立し、被災地に建築関係の職人を派遣する仕組みづくりを進めている。被災者が速やかに自宅で日常生活が送られるよう支援するのが狙い。渡辺さんによると、全国でも珍しい試みという。(佐久間博康)

協会は、渡辺さんと大月の屋根施工会社「日本スレンス工業」の石岡博実会長が一月二十六日に設立した。二人は昨年の熊本地震や鳥取地震の被災地で復興支援活動で協力し意気投合した。協会では石岡会長が代表理事、渡辺さんが理事を務める。

渡辺さんによると、被災地では救援物資としてブルーシートなどの資材は届く

職人は一人親方や小規模事業者が多く、経済的な負担が障害となっている点を考慮し、一日八千〜一万五千元の手当を支給する。活動を支えるために、一口一万円の寄付も募る。

静岡県内の事務局はGW三島、山梨県内は日本スレンス工業が担当し、百人以上の登録を目指す。山梨県では既に約五十の個人・団体が登録しているという。

渡辺さんは「災害時に日本はどこからでも駆けつけられる体制をつくりたい。静岡、山梨の両県で災害が起きたときの備えにもなる」と話す。問い合わせは、GW三島＝電055(983)0136＝へ。

## 生活再建支援へ仕組みづくり